

ジョブ型研究インターンシップの事例紹介

2023年6月20日

 **JX金属株式会社**

本日のご紹介内容

- 1 JX金属について
- 2 ジョブ型研究インターンシップとは
- 3 当社事例の紹介
- 4 質疑応答

1. JX金属について

■ 多岐に渡る事業領域

資源開発から金属製錬、IoT・AI化が進展する社会に欠かせない先端素材の製造・開発、さらには使用済み電子機器からのリサイクルまで、銅・レアメタルを中心とした非鉄金属に関する一貫した事業展開をグローバルに行っています。

資源・製錬



先端素材

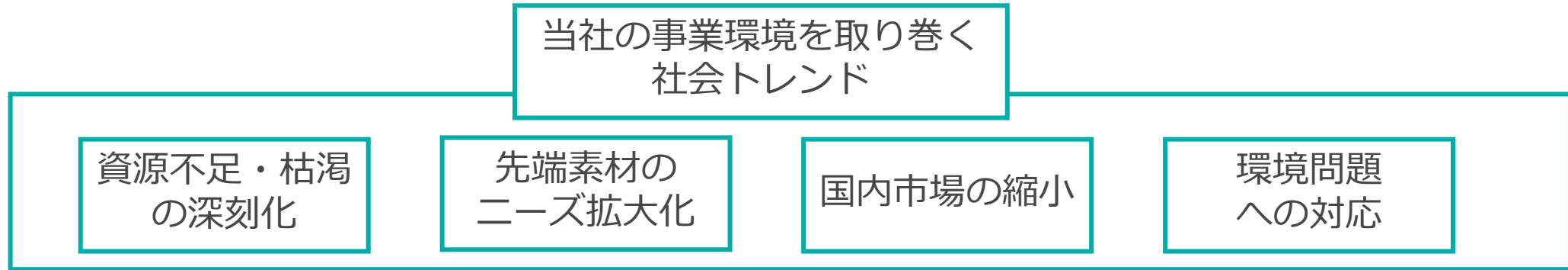


環境リサイクル



1. JX金属について

■ JX金属の長期ビジョン



長期ビジョン

「装置産業型企业」から「技術立脚型企业」への転身により、激化する国際競争の中にあっても高収益体質を実現、半導体材料／情報通信材料のグローバルリーダーとして、持続可能な社会の実現に貢献する

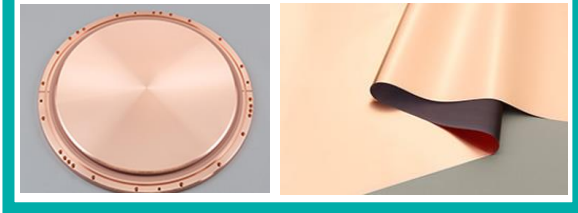
技術立脚型の新規事業を不断に創出する体制構築が不可欠

- ✓ 外部リソースの積極的な活用
(大学や研究機関等との共同研究、オープンイノベーション等)
- ✓ 技術立脚型経営に向けた組織構築・人材育成

1. JX金属について

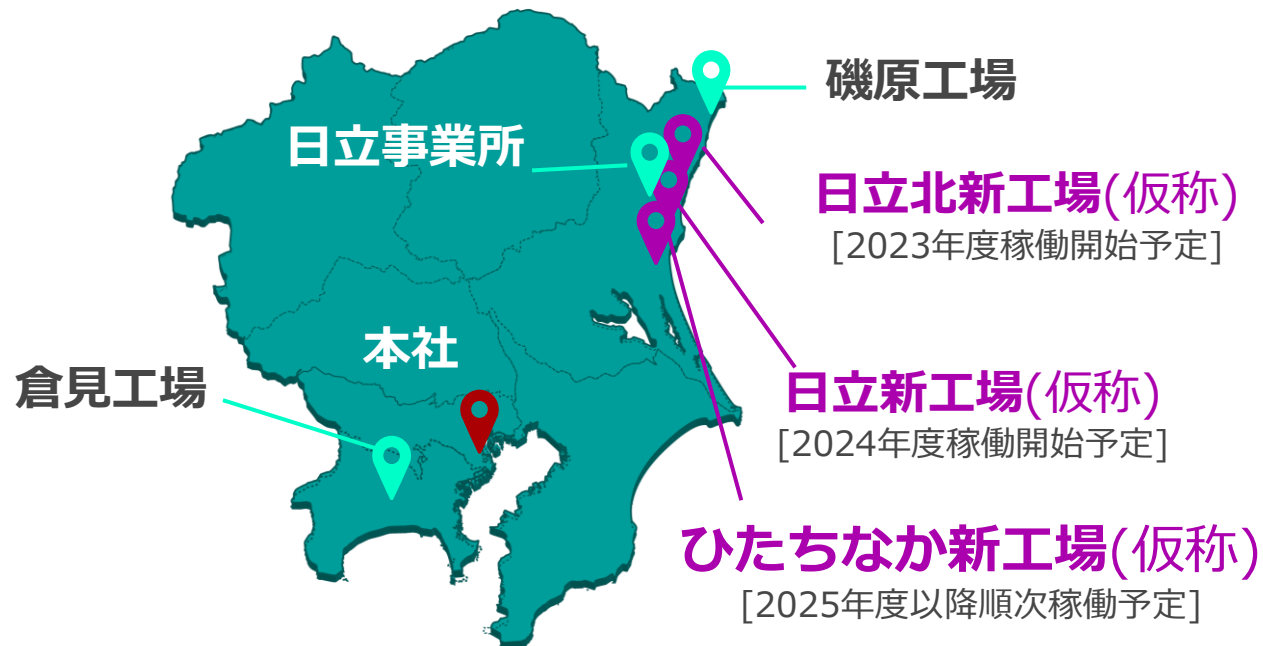
■ JX金属のトピックス ～ひたちなか新工場～

当社の先端素材



- ✓ 多くは世界トップシェア
- ✓ データ通信の高度化に不可欠
- ✓ 先端素材の需要は今後も拡大見込み

ひたちなか新工場をはじめとして安定供給できる体制へ



ひたちなか新工場（仮称）完成イメージ



2. ジョブ型研究インターンシップについて

■ 目的 (文部科学省のガイドラインから引用)

大学院教育の一環として行われる長期間かつ有給の研究インターンシップの普及により、**これらのことを文化として社会に定着させる**。もって、**Society5.0に相応しい雇用の在り方と高等教育が提供する学びのマッチング**を図る。

- ◆ 優秀な大学院学生が、**安心して博士課程への進学を選択できる環境**にあること
- ◆ 今後拡大が見込まれるジョブ型採用を見据え、**産業界と大学が連携して大学院教育**を行い、国際競争に耐え得る研究力に裏打ちされた**実践力**を養成すること
- ◆ **学業**に支障をきたすことなく、**学生の成長**にとって有意義なインターンシップが行われ、**学修成果**を活用した採用活動が行われること

■ 参画企業・大学

51企業・67大学 (2023年5月1日時点)

【引用】「ジョブ型研究インターンシップ (先行的・試行的取組) 実施方針 (ガイドライン)」 (文部科学省高等教育局)

2. ジョブ型研究インターンシップについて

◆ ジョブ型研究インターンシップの定義

以下の要件をすべて満たすインターンシップを「ジョブ型研究インターンシップ」とする。

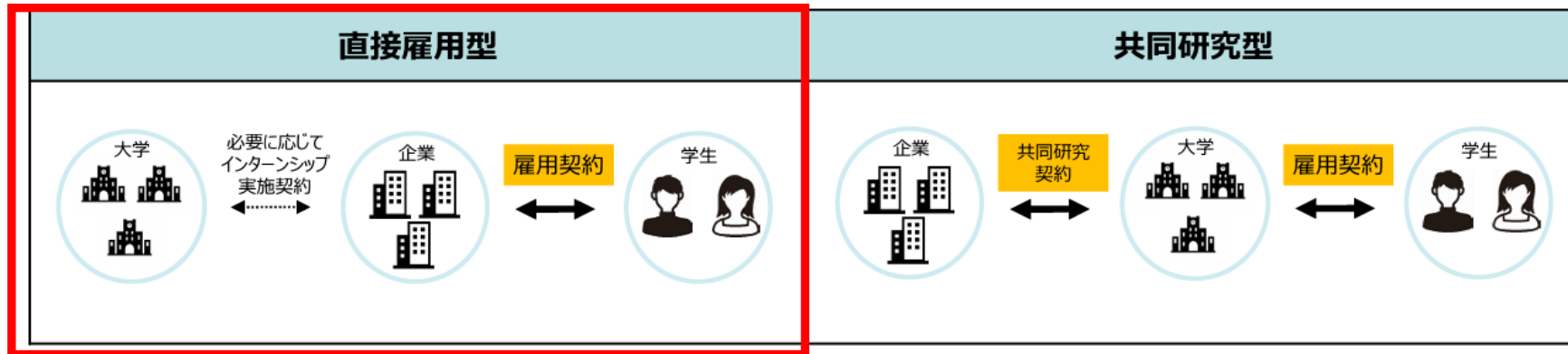
- 研究遂行の基礎的な素養・能力を持った**大学院学生**が対象*
- **長期間（2ヶ月以上）かつ有給**の研究インターンシップ
- **正規の教育課程**の単位科目として実施
- 本ガイドラインに沿った**ジョブディスクリプション（業務内容、必要とされる知識・能力等）**を提示
- インターンシップ終了後、学生に対し**面談評価**を行い、**評価書・評価証明書**を発行
- インターンシップの成果は、企業が適切に評価し、**採用選考活動に反映することが可能**

* 当面の間、博士課程学生を対象とし、修士課程学生については、引き続き検討

【引用】「ジョブ型研究インターンシップ（先行的・試行的取組）実施方針（ガイドライン）」（文部科学省高等教育局）

2. ジョブ型研究インターンシップについて

◆ ジョブ型研究インターンシップの類型（契約形態）



◆ ジョブ型研究インターンシップの類型（ジョブ内容）

テーマ探索型	テーマ付与型	研究開発支援型
<ul style="list-style-type: none"> 企業・大学からはインターンシップ募集時に学生に研究開発テーマ*1を具体的に提示せず、学生が新しい研究開発テーマ*1*2を提案・探索 	<ul style="list-style-type: none"> 企業・大学がインターンシップ募集時に学生に研究開発テーマ*1*2を提示 	<ul style="list-style-type: none"> 企業・大学はインターンシップ募集時に学生に特定の研究開発支援業務*2を提示

*1 研究開発テーマについては、事業内容又は学生の研究分野を鑑みて適切な研究課題・研究業務を設定することが可能。

*2 研究開発テーマ、研究開発支援業務の内容については、開発関連業務などを含め学生の研究経験が生かせる業務を柔軟に付与。

【引用】「ジョブ型研究インターンシップ（先行的・試行的取組）実施方針（ガイドライン）」（文部科学省高等教育局）

3. 当社事例の紹介

■ 実績

2021年度	2名（材料工学）	<ul style="list-style-type: none">・ 1名は留学生（東アジア）・ 1名は2024年新卒の内々定
2022年度	1名（材料工学）	<ul style="list-style-type: none">・ 留学生（中東）
2023年度	1名（化学工学） （夏頃受入れ予定）	<ul style="list-style-type: none">・ 留学生（中東）

■ 学生の取組内容（ジョブ内容）

✓ テクノロジースカウティング

技術動向調査、技術保有組織の選定、協業仮説構築、対象組織との議論など、調査から協業仮説の開発テーマ化までの一連の活動

具体的には、当社社員と議論しながら、以下を担当頂く

- ・ 技術動向に関する調査や対象テーマの分解
- ・ 有望セクターの分析
- ・ 有望組織や技術のリストアップ、サマリの作成

3. 当社事例の紹介

■ 受入スケジュール (9月～10月に受入をする場合)

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
準備	JDの作成、社内調整等	■	■	■						
広報	4・5月に一斉広報、6月以降に選考		■	■						
選考					■					
受入準備	雇用期間調整・プログラム作成					■				
	書類準備・社内決裁					■				
	学生・大学と書類取り交わし						■			
受入							■	■		
評価	成果報告会実施・評価書類作成								■	

選考から受入までの準備期間として2か月推奨

【参考】 当社の過去受入時期：1月～2月、6月～7月、9月～10月
 (受入部署のキャパと学生の希望に合わせて適宜決定)



JX 金属株式会社